

(様式4)

平成22年度 学校パワーアップ事業 学力向上マニフェスト 成果報告書

学校名	本年度の指導の重点	成果
尾久第六小学校	1 主体的な学習に取り組む子の育成	・ 学習履歴を自身で振り返ることのできるノートの作成について各学年の発達段階に応じた指導を進めるとともに個々の児童に応じた家庭学習についても取り組み、家庭での学習の見守りを呼びかけるとともに定着を図った。 ・ 各学年の教科について、調べ学習を進めることが有効な単元内容の洗い出しを行い、効果的な図書を事前に準備できるようにした。これにより本校学校図書館の蔵書は全体として約14,000冊となり、日常の学習において効果的に学校図書館を利用できる体制がほぼ整いつつある。
	2 授業力の向上	・ 荒川区教育委員会 授業力向上プロジェクト指定校及び小学校英語重点校として、全学年各学級教室および音楽教室、算数教室、英語教室等の日常学習において児童が使用する教室のほぼ全てに電子黒板を整備し、電子教科書をはじめとする各種教育ソフトの運用や実物投影機としての運用も含め、年間を通した効果的な運用の工夫を進め、全学級について研究授業を行った。2月16日に研究発表を行い、その成果を発表した。
	3 家庭学習五ヶ条の確立	・家庭教育力の向上のために、年度当初に日常の学習習慣・読書の取り組み・生活習慣の確立を呼びかけるとともに「家庭学習の5か条」を作成し、各学年保護者会や学校公開習慣などのあらゆる機会を通じて、家庭での協力を呼びかけ、相互に共通の意識を持ちながら子供を見守り、育てる取り組みを行った。
	4 教育先進校研究視察	・ 本校の推進する研究テーマ及び本校の児童の実態を踏まえて、共通するテーマについて研究を進めている先進校と連絡をとりながら各教員が視察等にいける環境を整え、研究紀要等の収集を進めた。

学校名	本年度の指導の重点	成果

記入方法

1 平成22年度学力向上マニフェスト事業における成果を記載する。

2 セルサイズは変更しない。

3 列数は事業数に応じて使用する。

4 記載例を参考に簡潔に記載する。

<記入例>

学校名	本年度の指導の重点	成果
〇〇小学校	・基礎基本の充実	9割の達成
	・自学自習の習慣化と学習規律の確立	達成

〇〇中学校	・図書館活用による言語力の育成	開館日数230日、貸出図書120%増
	・適切な支援の徹底・個別指導の充実	研修会の実施3回、

〇平成22年度 事業計画(様式2)に記載されている指導の重点を記載する。
〇2事業であれば列は2段使用する。

〇平成22年度学力向上マニフェスト「成果 と課題」に記載した成果をまとめて記載する。
→記載方法は、達成、%達成、回数、前年比等を簡潔に記載する。

